

# 三浦半島に “まち研”ができた!

三浦半島では人口減少がすすんでいます。首都圏にあって人口減少は地方とは違った意味合いも見られます。

こうした課題を抱えながらこれからの三浦半島を考えると地方自治・住民自治は欠かせない問題です。

そこで私たちは地域経済圏などを考えて三浦半島全体を対象に研究者、学生、住民、業者、自治体職員、議員などが協力して取り組めたらと考え、自治体問題研究所のローカル研究会として「まち研@三浦半島」を立ち上げました。

“まち研”の原動力はなんと言っても住民の願いや要求です。要求に基づいて調査・分析・研究・発表などをしたいと考えています。

軍事基地のある地域で基地問題は外せませんが、三浦半島には「こんないいところがあるよ。」などと楽しい語り合いの場にもなるような“まち研”にしたいと思っています。

何をやるにも財政問題が欠かせません。そこで「まち研@三浦半島」の最初のとりくみとして、財政問題の学習会を行うことになりました。ぜひご参加ください。“まち研”への参加もよろしく願いいたします。



**三浦半島地域自治研究会** (通称：まち研@三浦半島)

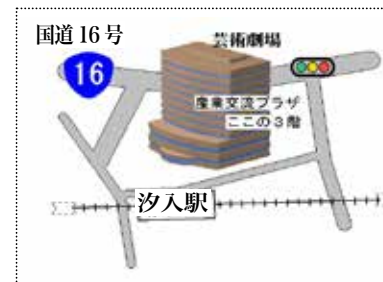
連絡先：メール machiken-miurahantou@jcom.zaq.ne.jp ☎ 046(847)3253(鈴木)

「まち研 @ 三浦半島」学習会へのおさそい

4月23日(土)

17:30 ~ 19:30  
(17:00 開場)

産業交流プラザ  
第2研修室 資料代 500円



神奈川県財政・  
横須賀市財政の  
現状と課題



**井坂新哉さん**  
県議会議員

「三位一体改革」と  
地方交付税・地方財政



**村高芳樹さん**  
国会議員秘書

横須賀市は中学校完全給食を「お金がないから」という口実で実施してきませんでした。本当にそうでしょうか？

福祉・医療・教育、どんな要求を実現するにも財政問題が重要です。

そこで、県と市の財政はどうか、地方交付金など国の施策が地方財政にどんな影響をもたらしているかなど、問題提起を含めてとりあげます。

井坂さんは、臨時財政対策債・財政調整基金の評価を含めて、県・市財政の現状と課題について。経済問題を専門とする村高さんは、三位一体改革で地方財源がいかに縮小されたか、また臨時財政対策債をはじめ、国と地方の関係をどう捉えるかについて。それぞれお話しする予定です。